



英語を楽しく学び
コミュニケーションの輪を広げよう!

3月20日 英語サロン



Kouhou

寿都

-SUTTSU-

4

2019 April
No. 693

～みんなで作るう寿の都～

「寿都町の新しい未来に
向けたまちづくり」を目指して

平成31年寿都町議会第1回
定例会が3月5日から15日ま
で開会され、片岡春雄町長から
平成31年度の町政執行方針、
有田千尋教育長から教育行政執
行方針が述べられました。

平成31年度 町政執行方針

本町においては、風力発電事業の売電益やふるさと応援寄附金事業が地域の元気を生み出す貴重な財源となっており、時代が大きく変革する中で、産業振興をはじめ、保健、福祉、医療、教育、住環境の充実や防災対策に、限られた財源を創意工夫により有効活用していかなければなりません。

本年度は、第7次寿都町総合振興計画の集大成と次期計画策定の重要な年であります。

町民、議会、行政が連携して、町民一人ひとりが

安心して健やかに暮らすことができるまちづくりを目指し、「みんなで作るう寿の都」をスローガンに、町民皆さまとともに全力で取り組んでまいります。



産業分野

漁業 については、秋サケなど主要魚種の漁業生産の低迷に加え、養殖漁業の大幅な減産など、取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

こうした中、漁業生産の安定に向けた取り組みについては、引き続き施肥事業により藻場の再生を図り、ウニ・アワビなど持続的な資源利用に繋げてまいります。

また、水産資源の維持・増大を図るためには栽培漁業の重要性が高く、増養殖漁業の生産基盤の確立に向けた各種取り組みを推進してまいります。

漁業の担い手対策については、本町漁業を持続させるための重要な施策であり、引き続き漁業を志す若者に対し支援措置を講じるなど人材の確保・育成に努めてまいります。

第3種寿都漁港については、水産業の活性化を支える拠点であり、「食の安心・安全」に配慮した衛

生管理機能の充実や、新たな南ふ頭整備に向け、関係機関との連携を図りながら漁港整備に努めてまいります。



水産加工業 については、地域経済の活性化と牽引役として貢献しており、ふるさと応援寄附金事業がその大きな原動力となっております。引き続き寄附者の心に響く洗練された商品を提供できるよう各事業者と連携を強化してまいります。



農業・林業 については、主要作物の生産維持と品質向上のため、引き続き必要な支援を継続するとともに、新たな農業スタイルの確立を目指し、再生可能エネルギーを活用した通年での施設栽培型農業をモデル事業として実施し、観光的要素や交流型農業の展開も視野に入れながら、農村地域の活性化を図ってまいります。

林業については、計画的な路網及び森林整備に努め、有害鳥獣対策では、ハンターの養成に必要な経費を助成し、駆除体制の安定を図り、住民の安全・安心を確保してまいります。



商業 については、商業集積地などへの消費購買力の流出など課題を抱える中、商業振興に活路を見出すため商工会が展開した「ベーカリーショップ」の効果的な事業運営が図られるよう連携協力してまいります。

「消費者還元プレミアム商品券発行事業」については、引き続き事業を推進し、町民の生活支援と町内消費を拡大させる環境を作ってまいります。



観光 については、交流人口拡大によって地域経済に大きな波及効果が期待されます。

年々、増加傾向となっている観光客の誘客を高めるため、観光物産協会を中心に町内産業団体との連携による受入体制強化に努めてまいります。

また、「寿都アンテナショップ神楽」については、引き続き本町のブランド力向上と同時に、観光客の送客を図るプラットホームとしての役割を担う施設として、適正な管理運営と健全経営の構築に努めて

まいります。

「寿都温泉ゆべつのゆ」については、町民の健康増進と魅力ある温泉施設として利用の増加に努めてまいります。



風力発電 については、町の自主財源確保としても重要な事業となっております。

今後においても、各種地域振興対策を推進するため、売電益の安定確保に向けた適正な維持管理に努めてまいります。



労働者対策 については、季節労働者の通年雇用化を促進するため、南しりべし季節労働者通年雇用促進協議会との連携により、引き続き雇用の安定に努めてまいります。

また、就職支援対策として町内企業に「UIターン」により就職された方を対象に、「ふるさと就職促進奨励事業」に基づく支援を引き続き行ってまいります。



健康づくり・福祉分野

保健・医療・福祉の充実については、町民誰もが健やかに生き生きとした生活を送るために、健康づくり及び未来を担う子どもを育む食育の推進を目標とした「寿都町食育推進計画」に基づき、関係機関と連携を図りながら取り組みを推進してまいります。

また、心身の健康づくりには個々の健康意識の向上だけではなく、地域住民との支え合いを含めた地域づくりが重要となるため、世代間交流や地域での食事会など、関係機関と連携を図りながら住民同士の交流機会の創出に努めてまいります。



少子高齢化による住民ニーズの変化に対応し、保育サービスの充実や子育て負担軽減などの少子化対策に取り組むとともに、高齢者などが社会的孤立を招かないよう、住民生活を支援する体制を強化してまいります。



医療分野

地域医療については、診療所の指定管理者である北海道家庭医療学センターとの緊密な連携により、「だれもが安心してかかれ、信頼される診療所」を目指し、住民に満足いただける医療の提供と経営の健全化を図るとともに、健康に対する意識啓発や健康維持・増進のため、保健・福祉と連携して予防医療に関する活動も積極的に展開してまいります。



医療保険については、国保データヘルス計画に基づき、予防を重視した保健事業の実施により医療費の適正化を推進するとともに、引き続き北海道と連携を密にして、国保会計の健全な財政運営に努めてまいります。

後期高齢者医療制度においても、被保険者の方々安心して医療を受けられるよう、広域連合と連携し制度の安定運営に努めてまいります。



生活環境分野

快適な生活環境と住民サービスについては、町民の良好な生活環境を保つため、じん芥処理やし尿処理事業の適切な運営と、簡易水道・公共下水道事業については、施設の適切な維持管理と会計の健全経営に努めてまいります。

一般廃棄物の収集については、ごみの減量化のため分別収集の周知徹底を図るほか、引き続きごみステーションを更新してまいります。

また、葬斎場は老朽化が進んでいることから、来年度の改築に向けて実施設計を行ってまいります。

公営住宅・住宅施策については、公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切な改修を進めながら維持管理を行ってまいります。

住環境整備支援事業については、リフォーム事業、住宅取得に伴う奨励事業を引き続き推進してまいります。

空き建築物対策

については、旧保育園を活用し、地域と高齢者の交流や健康づくりのできる空間を備えた高齢者住宅を整備するほか、子育て支援住宅の整備を進めてまいります。

廃屋対策については、町民の生活環境改善のため、引き続き建物の除却事業を推進してまいります。



道路・河川事業

については、町道矢追新通り線の完成に努めるとともに、適切な維持管理を行ってまいります。

河川については、近年の集中豪雨に対応すべく、河川整備を計画的に実施し、適切な維持管理に努めてまいります。



まちづくり振興分野

まちづくり振興

については、平成22年度からスタートした第7次寿都町総合振興計画は本年度をもって終了いたします。計画期間中、人口減少、少子高齢化などの地域が直面する構造的な課題に対し、即応的な取り組みや町の活性化と地域内の生産性及び所得の向上を図ってまいりましたが、これまでの施策の検証と政策課題を踏まえ、さらに実効性のある次期総合振興計画の策定を進めてまいります。



防災対策については、災害への対応拠点となる防災センターの整備をはじめ、さまざまな災害を想定した防災訓練の実施と検証のほか津波避難施設の整備と災害時備蓄品などの計画的配備、ブラックアウト対策など防災体制の確立に努めてまいります。

まちづくりについては、引き続き多くの町民が自主的・主体的に地域づくりに参画し、生きがいと交流の創出ができる仕組みを構築するとともに、町内会育成事業の拡充を図ってまいります。



行財政分野

行財政改革

については、地方分権改革の進展により、地域特性を活かし自ら自立可能な戦略を策定し、個性豊かな活力ある地域社会を実現するため、積極的な取り組みが求められています。

きめ細やかな行政サービスの提供や地域の課題に効率的に対応できるよう行財政運営を進め、職員の意識改革と研修の充実を図ることにより、実務能力の向上、潜在能力の発揮及び政策立案能力の習得に努めてまいります。

町税

については、町税及び税外収入金の未収入額の減少を図るため、現年度課税分の収納率向上を基本に、徴収体制を強化してまいります。

滞納者に対しては、財産調査等を行うとともに、北海道及び弁護士と連携して滞納処分を実施してまいります。

教育行政執行方針

教育行政については、教育をめぐる環境はさまざまな変容を遂げており、新たな施策の取り組みを進め、本年度は第8次寿都町総合振興計画の策定と歩調を合わせながら、寿都町教育振興基本計画の策定に向け、寿都町の教育として長期的な視点に立ち取り組んでまいります。

学校教育では、小学校が来年度、中学校がその翌年度に学習指導要領が改訂され、それに対応する教育課程の編成及び新しい時代に必要とされる資質・能力の育成、グローバル化や情報化に対応できる子どもを育むため、小学校での外国語活動の継続やICT環境の充実を推進してまいります。

また、寿都高校の存続を念頭に置いた、通年での公設民営の学習塾を開設し、基礎学力・学習環境の充実を図り、地元や近隣町村からの進学率の向上に努めてまいります。



社会教育では、幼児から高齢者までの幅広い領域を対象とした生涯学習活動により、町民が健康で明るく元気に生活を送れるよう努めてまいります。

教育分野

確かな学力の育成 については、変化
する社会の中で、子どもたち一人ひとりが、自立して
生き抜いていくために必要な資質・能力の向上が
求められており、全国学力・学習状況調査等を引き
続き実施し、各学年の授業改善と学習習慣の確立を
進め、子どもたちが生きていく上で、必要な確かな
学力を育成してまいります。

小学校では、来年度からの新学習指導要領に外国
語活動と英語科が組み込まれますが、本町では、先
行して実施しておりますので、本年度も引き続き、
英語指導職員を活用した小学校だからこそできる授
業づくりに努めてまいります。

また、新しい時代に向け情報化に対応するため、各
小中学校でのICT環境の充実に努めてまいります。

さらに、子どもたちの学力向上や人間形成のため
の指導を行う教職員の資質向上を図るため、研究授
業や研修会等への積極的な参加と、児童生徒の進路
希望を実現することができるよう、町内小中高連携
推進委員会を中心とした各学校間の連携を深め、小
中高の一貫した教育の充実を図ってまいります。

豊かな心の育成 については、小学校で
は、平成30年度から道徳が教科化され、本年4月か
ら中学校でも教科化となることから、道徳的価値に
ついて、自分事として捉え、自己を見つめ、多面的・
多角的に深く考え、人間としての生き方についての
考えを深める道徳教育の充実に努めてまいります。

子どもたちの健やかな成長のためには、豊かな情
操や道徳心、他者への「思いやり」の心を育み、さら
に、ルールやマナーなどの遵守意識を高め、学習
規律や礼儀を身につけられるよう学級指導などを通
じ、指導してまいります。

また、コミュニティ・スクールを活用しながら、

本町にある地域資源を生かした体験活動や、朝読書
など読書機会の提供により、子どもたちの社会性や
豊かな人間性を育ててまいります。

健やかな体の育成 については、子
どもたちの体力について、さらなる向上を目指し、
小・中学校で新体力テストを実施し、得られた結果
から体育などの授業改善を図るとともに、部活動、
朝の体力づくり運動など、日常的な活動を通して、
運動習慣の確立にも取り組んでまいります。

学校給食については、積極的に地場産物を取り入
れるとともに衛生管理に努め、安全安心な給食の提
供を行ない、子どもたちの健やかな成長を促進して
まいります。

信頼される学校づくり については、
学校は、地域の宝である「子ども」を育てる場とし
て、地域や保護者から大きな期待が寄せられており、
学校を核に地域全体で子どもたちを育てていく体制
づくりを進め、特別な支援を要する児童生徒への対
応や学校運営協議会の活動を支援し、地域とともに
支えあう学校づくりに取り組んでまいります。

また、組織的な学校運営にも努め、学校経営方針
に基づき、計画的に分掌業務を推進し、働き方改革
にも配慮した効率的な業務遂行に取り組んでまいり
ます。

さらに、防災や気象の変化に対応するため、防災
意識の高揚に努め、学校の防災計画や危機管理マ
ニュアルの更新、猛暑に起因する健康被害に対応す
るため、教室等への空調設備の整備を行ない、児童
生徒の安全な環境確保に努めてまいります。

家庭教育支援の充実 については、生きる力の基礎的な資質等を育成するため、教育の出発点である家庭教育を充実させ、子どもの発達段階に応じて、身に付けるべき基本的な生活習慣や家庭・地域で経験することが望ましい生活体験など、子育て中の保護者が集い、学びあう機会の提供に努めてまいります。

また、保育園とも連携し、就学へのスムーズな移行が行えるよう、新1年生に対する支援事業を展開し、家庭への必要な情報提供を行ってまいります。

活力あるコミュニティの形成 については、故郷に誇りを持ち「寿都大好き」「わが町のために、自ら活動する」という思いの育成が必要であり、地域で子どもたちを見守り育てるため、放課後子ども教室や自然体験キャンプ等を開催し、子どもの生きる力や社会性、愛郷心を育むとともに、地域の方が持つ多様な経験や技能を子どもたちに引継ぎ、次世代を担うリーダー育成を推進してまいります。



生涯学習活動の支援 については、社会経済の大きな変化の中で、生涯を通じて学習することができ、その成果を生活に活かすことができるよう、総合文化センターを学習活動の拠点として、必要な知識や技術の習得ができ、町民の学習ニーズに対応したウィズコムカレッジ等の学習機会を提供するとともに、学習成果を発揮できる環境を充実してまいります。

特に、英語に親しみ、世代間の交流も含めた英語サロンを開催し、コミュニケーションの幅を広げ、語学の学習意欲向上に努めてまいります。



運動・健康づくりの推進 については、町民が生涯にわたり健康で充実した生活を送るためには、日常的な運動習慣の定着が重要な要素の一つです。北翔大学と連携した運動教室や各種スポーツ教室を引き続き開催するとともに、個人や団体が行うスポーツ活動への支援に努め、楽しみながらさまざまな運動ができるよう、町民全体に健康づくりへの意識を根付かせ、体力向上を目指してまいります。



生涯学習環境の整備 については、生涯学習活動を行う場である学校施設や総合文化センターなどの社会教育・社会体育施設は、経年劣化などによる更新が必要なため、計画的な改修を行うとともに、利用しやすい施設運営を検討してまいります。

また、総合文化センター図書室を読書環境の拠点とするほか、小・中学校への移動図書を行い、子どもの読書習慣の定着を図るとともに、町民のニーズに応えつつ蔵書数を確保し、ブックスタート事業やブックフェスティバルなどを通して、読書環境を充実させてまいります。



文化の伝承・振興 については、町民が文化芸術活動を主体的に行い、生活の中で潤いと安らぎを持ち、生きがいとして活動ができるよう、個人や団体への支援に努め、町民全体が文化に親しむ環境づくりを進めてまいります。

また、町民が日々の創作活動の成果を発表する機会として目標にしている総合文化祭を、地域文化活動の集大成と位置づけ、引き続き開催してまいります。

さらに、寿都町歴史文化基本構想に基づき、歴史文化資産の保存活用を行うとともに、指定文化財である「カクジュウ佐藤家」の詳細な調査を行い、史跡としての活用を検討するとともに、歴史的建造物である「橋本家（旧鯉御殿）」の保存整備を行い、教育や観光等への活用を図り、歴史を活かしたまちづくりを推進してまいります。

平成31年度寿都町予算

一般会計歳入歳出53億4,900万円

(単位：千円・%)

会計区分	平成31年度	平成30年度	差引	伸率
一般会計	5,349,000	5,342,000	7,000	0.1
特別会計				
国民健康保険事業特別会計	404,000	416,400	△12,400	△3.0
後期高齢者医療特別会計	51,400	49,900	1,500	3.0
介護保険事業特別会計	438,300	430,600	7,700	1.8
簡易水道事業特別会計	126,800	138,900	△12,100	△8.7
公共下水道事業特別会計	216,300	233,600	△17,300	△7.4
風力発電事業特別会計	816,600	594,000	222,600	37.5
計	7,402,400	7,205,400	197,000	2.7

平成31年度一般会計の予算規模は53億4,900万円で、前年比0.1%の増加となっています。
また、一般会計と特別会計を合わせた総額は、74億240万円で前年比2.7%の増加となっています。

(単位：千円・%)

区 分	予算額	構成比率
経常的経費		
人件費	574,757	10.7
物件費	924,239	17.3
維持補修費	111,389	2.1
扶助費	204,951	3.8
補助費等	890,481	16.6
公債費	706,996	13.2
投資的経費	1,056,497	19.8
その他経費		
積立金等	564,609	10.6
繰出金	315,081	5.9
計	5,349,000	100.0

経常的経費	63.8%	34億1,281万円
投資的経費	19.8%	10億5,650万円
その他経費	16.4%	8億7,969万円

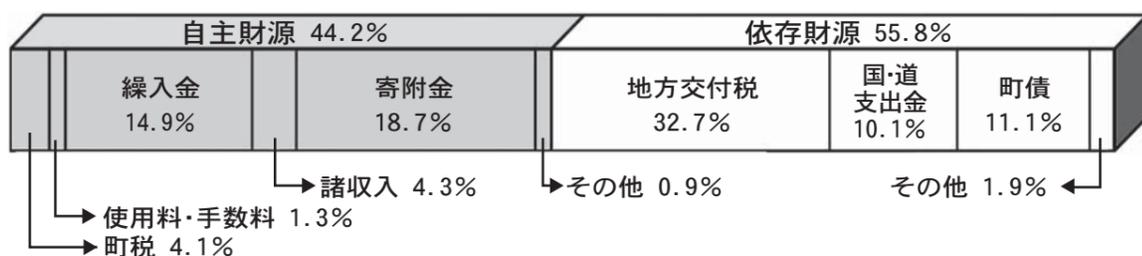
●普通建設費について

今年度の主な事業は、防災センター整備事業、農業振興ハウス整備事業及び渡島団地整備事業などです。

歳入の主な内容(一般会計)

(単位：千円・%)

区 分	平成31年度		平成30年度		差 引	伸 率
	予算額	構成比率	予算額	構成比率		
自主財源						
町 税	220,262	4.1	221,810	4.2	△1,548	△0.7
使用料・手数料	66,367	1.3	65,620	1.2	747	1.1
繰入金	798,887	14.9	949,721	17.8	△150,834	△15.9
諸収入	231,434	4.3	235,635	4.4	△4,201	△1.8
寄附金	1,000,006	18.7	1,000,006	18.7	0	0.0
その他	45,907	0.9	48,413	0.9	△2,506	△5.2
小計	2,362,863	44.2	2,521,205	47.2	△158,342	△6.3
依存財源						
地方交付税	1,749,000	32.7	1,740,000	32.6	9,000	0.5
国・道支出金	541,089	10.1	456,395	8.5	84,694	18.6
町債	594,400	11.1	528,800	9.9	65,600	12.4
その他	101,648	1.9	95,600	1.8	6,048	6.3
小計	2,986,137	55.8	2,820,795	52.8	165,342	5.9
合 計	5,349,000	100.0	5,342,000	100.0	7,000	0.1



自主財源について

繰入金が前年比15.9%減少しているのは、地方債の繰上償還に係る減債管理基金の1億5,000万円の繰入が減少したものです。

依存財源について

国・道支出金については、防災センター整備事業や農業振興ハウス整備事業、水産物衛生管理対応機器導入事業などの計画により、合わせて約8,400万円が増加しています。

●自主財源●

- 町税
町民税、固定資産税及び軽自動車税など。
- 使用料及び手数料
公営住宅使用料及び戸籍手数料など。
- 繰入金
各種基金の取崩しや風力発電事業特別会計からの繰入金。

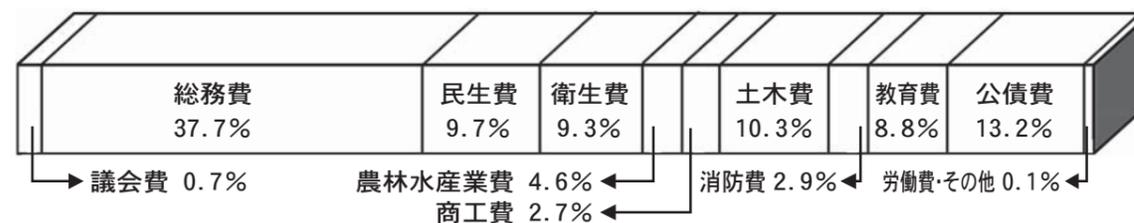
●依存財源●

- 地方交付税
国が徴収した所得税、酒税及び消費税などの一定割合の額を、地方自治体に一定の行政水準を維持するために交付される。
- 国・道支出金
国や北海道が交付する負担金や補助金など。
- 町債
公共施設などを整備するために借り入れる資金。

歳出の主な内容(一般会計)

(単位：千円・%)

区 分	平成31年度		平成30年度		差 引	伸 率
	予算額	構成比率	予算額	構成比率		
議会費	39,152	0.7	39,075	0.7	77	0.2
総務費	2,017,910	37.7	1,970,946	36.9	46,964	2.4
民生費	520,349	9.7	553,259	10.4	△32,910	△5.9
衛生費	494,661	9.3	479,993	9.0	14,668	3.1
農林水産業費	245,783	4.6	73,042	1.4	172,741	236.5
商工費	141,852	2.7	172,027	3.2	△30,175	△17.5
土木費	550,863	10.3	545,704	10.2	5,159	0.9
消防費	156,171	2.9	171,193	3.2	△15,022	△8.8
教育費	472,182	8.8	471,626	8.8	556	0.1
公債費	706,996	13.2	861,740	16.1	△154,744	△18.0
労働費・その他	3,081	0.1	3,395	0.1	△314	△9.2
合 計	5,349,000	100.0	5,342,000	100.0	7,000	0.1



平成31年度の主な事業

今年度の主な事業は、防災備蓄品等の格納場所及び災害時の関係機関との連絡調整場所として旧ファミリー体育館を改修する「防災センター整備事業」、再生可能エネルギーを有効活用しながら農業の活性化を図るモデル事業として行う「農業振興ハウス整備事業」、旧寿都保育園を高齢者住宅に改修する「渡島団地整備事業」や、翌年度に建て替えを計画している「葬斎場整備事業」の実施設などを予定しています。

特別会計の主な内容

簡易水道事業特別会計・公共下水道事業特別会計・風力発電事業特別会計

簡易水道事業特別会計は公債費の減などで8.7%の減少、公共下水道事業特別会計は公共枡整備事業などの完了に伴い7.4%の減少、風力発電事業特別会計は風車増設に向けた系統側蓄電池設置工事負担金などにより37.5%の増加となっています。

主な事業ごとの予算額及び財源内訳などをまとめた「平成31年度寿都町予算のあらまし」を役場庁舎ロビー又は総合文化センターに設置しています。また、希望される方にはお届けするほか、町公式ホームページにも掲載しています。

寿都町 スポーツ表彰式

3月7日、総合文化センターにおいて、平成30年度寿都町スポーツ表彰式が行われました。
受賞された皆さまへ敬意を表しますとともに、今後ますますのご活躍をご祈念いたします。

スポーツ功労賞



熊谷 大清

平成5年4月に寿都バレーボール協会会長に就任以来、25年の永きにわたり本町のバレーボール振興に尽力されました。



仁岸 真司

寿都町ソフトボール協会の事務局長として16年間尽力され、この間、平成21年から平成24年の4回にわたり「全町耐久ソフトボール交流大会」を開催するなど、本町のスポーツの振興・発展に大きく貢献されました。

スポーツ優秀賞



澤田 大史
(寿都中3年)

第38回全道中学生軟式野球大会
(所属：後志選抜クラブ)

1位 他



伊藤 蒼汰
(寿都中3年)

第3回全日本中学野球選手権北海道地区大会
(所属：余市リトルシニア)

1位 他



荒井 正明
(寿都中2年)

北海道卓球選手権大会 (かっぱの部)
男子シングルス

3位 他



山田 蒼汰
(寿都保育園)

第46回道新杯少年団剣道大会
幼児の部

1位

スポーツ奨励賞

《個人》

臼杵 里衣子 (寿都小3年)

北海道小学生陸上競技大会地方予選 兼
小樽後志小学生陸上競技記録会
小学3年女子800m 3位

西村 朋晃 (寿都小3年)

第24回小樽小中学校・高校水泳競技大会
小学3・4年男子25mバタフライ 1位

木村 瑛太 (寿都小4年)

北海道小学生陸上競技大会地方予選 兼
小樽後志小学生陸上競技記録会
小学4年男子ジャベリックボール投げ 1位

工藤 颯太 (寿都小4年)

2018年度後志小学生バドミントン大会 兼
第32回全十勝小学生オープンバドミントン大会選考会
小学5年男子ダブルス 1位 他

三上 愛心 (寿都小4年)

第24回小樽小中学校・高校水泳競技大会
小学3・4年女子25m平泳ぎ 1位

元山 心結 (寿都小4年)

第24回小樽小中学校・高校水泳競技大会
小学3・4年女子50m背泳ぎ 2位 他

藤田 永遠 (寿都小4年)

第32回わんぱく相撲岩内場所
小学4年男子の部 2位

渡部 夏海 (寿都小6年)

北海道小学生陸上競技大会地方予選 兼
小樽後志小学生陸上競技記録会
小学6年女子走り高跳び 3位

藤田 マリア (寿都小6年)

第32回わんぱく相撲岩内場所
小学6年女子の部 2位

渡辺 彪雅 (寿都高1年)

第12回小樽ジュニアテニスダブルス
選手権大会
16歳以下男子ダブルス 1位

木村 吏希 (寿都高1年)

第24回小樽支部高等学校秋季テニス大会
男子ダブルス 3位

徳差 佑哉 (寿都高2年)

第24回小樽支部高等学校秋季テニス大会
男子ダブルス 3位

山口 巽久 (寿都高2年)

第23回小樽支部高等学校春季テニス大会
男子シングルス 1位 他

佐藤 諒典 (寿都高3年)

第23回小樽支部高等学校春季テニス大会
男子ダブルス 1位 他

小野 輝瑠 (寿都高3年)

第23回小樽支部高等学校春季テニス大会
男子ダブルス 2位 他

《団体》

寿都中学校サッカー部

第34回うめや杯中学生サッカー大会 兼
小樽地区カブスリーグU-15 1位 他

寿都中学校バドミントン部

平成30年度後志中学校バドミントン大会
女子団体戦 3位

寿都高等学校テニス部

第58回小樽支部高等学校テニス選手権大会
男子団体戦 1位 他

敬称略、学年は授賞式現在



赤ちゃんから お年寄りまで

寿都町教育委員会
電話 0136-62-2100
FAX 0136-62-2280

みんなが、学びの主人公

公設民営塾を通年で開設します

町では、寿都高校存続への取り組みの一環として寿都高校と寿都中学校及び近隣町村中学校の生徒を対象に基礎学力や学習意欲の向上を目的とした、公設民営塾を4月16日(火)から通年で開設します。

開設に先立ち、体験会を4月13日(土)から15日(月)まで開催しますので、塾に興味がある方は、ぜひ、お気軽にご参加ください。

公設民営塾で、自身の学力向上や希望進路実現のための対策をしませんか。詳しくは、各学校を通じて配付されたチラシをご覧ください。寿都町公設民営塾までお問い合わせください。

開設時間：平日 午後4時～午後9時
土曜日 午前10時～午後6時
※日曜日・祝祭日は休講
開設場所：みなくる104 2階
受講料：5,000円(月額) ※月最大8回受講できます。
お問い合わせ先：寿都町公設民営塾 電話0136-62-2886



4月になり屋外でも運動しやすい季節となってきました。図書室では、運動をする際の動作やポイントが解説された本や、家庭でもできる脳トレの本などさまざまな分野

の本を取り揃えています。また、本棚に並べられていない本もありますので、読みたい本のリクエストや要望などがありましたら図書運営員までお問い合わせください。

開室時間：火曜日～日曜日
午前10時～午後7時
※月曜日は祝祭日に関係なく休室
貸出冊数：1人1回5冊まで
※貸出1回につき風太くんポイントを10ポイント進呈します。
貸出期間：従来3週間でしたが、今年度から2週間に変更となりました。

「みんなでラジオ体操」を開催します

日常的・継続的な運動習慣定着による健康づくりを目指す「みんなでラジオ体操」を3月に引き続き、4月も下記の日程で開催します。

今回もラジオ体操認定指導員から、体操のポイントについて指導していただきます。皆さんと一緒に楽しみながら汗を流しませんか。ぜひ、お気軽にお越しください。



3月開催の「みんなでラジオ体操」の様子

日時：4月15日(月)、22日(月)
午後7時～午後8時
場所：総合体育館
持ち物：動きやすい服装、運動靴、飲み物

まちの古い写真などを探しています

町では、カクジュウ佐藤家・橋本家(旧鯨御殿)を中心に、歴史文化資産の調査を実施しており、歴史的建造物の復原などに必要な資料を収集しております。

本町の貴重な歴史文化資産を後世へつなげていくため、昔の写真や資料などをお持ちの方は、教育委員会まで情報提供をお願いします。

文化振興事業にご協力いただけませんか

寿都町文化振興事業実行委員会では、毎年、コンサートや演劇、舞台などさまざまな文化芸能を町民の皆さんにお届けしています。

実行委員会では、事業の企画立案や運営スタッフなどを担う実行委員を募集しています。町民の皆さんに喜んでいただくための公演を一緒に企画・運営したい方、興味がある方は文化推進係へお問い合わせください。

各屋外体育施設オープン

各施設のオープン予定は下記のとおりです。今年度も健康づくりや体力向上のため、ぜひご利用ください。

施設名	オープン予定日	
町民テニスコート	4月 6日(土)	
浜中パークゴルフ場	4月27日(土)	
風太公園	多目的グラウンド	5月 2日(木)
	ソフトボール場	

寿都町食育推進計画 を策定しました



「食」は生涯にわたって続く営みであり、生きていくために欠かせないものである一方、栄養が偏ると肥満や生活習慣病などの原因となり、本町においても食に関する多くの課題を抱えています。

そこで、町では食の課題解決による町民みなさんの健康維持のため、

- ① 保育園や学校、各家庭での活動により、健康的な食事を楽しんで身に付けることができるよう食に関して指導・学習する機会の拡大
- ② 各種体験活動を通じて寿都町の食の伝統を知り、地産地消の大切さを学ぶ食育の推進

以上の2点を目標として寿都町食育推進計画を策定しました。

食育とは？

私たち一人ひとりが、生涯のさまざまな経験を通じて、健全な食生活の実現や健康の確保などが図られるよう、「食に関する知識」と「食を選択する判断力」を正しく身につけるための取り組みです。子どもはもちろん、大人になってからも食育は重要です。



◆ご家庭でぜひ実践してください◆

寿都町の食の課題は「野菜不足」と「濃い味付けの食事」であり、生活習慣病の患者数が全道や全国と比較して多く、健康課題にもなっています。

家庭での献立や外食をする際のメニュー選びでは、下記の2つを意識した食事を心掛け、できることから始めて見ましょう。

- 野菜を毎食食べる
- 食事の味付けは薄味を心掛ける



奇数月にはくらしのお知らせガイドで「野菜レシピ」や「減塩レシピ」を掲載していきますので、ぜひご活用ください。

寿都町食育推進計画の全文は町公式ホームページに掲載しています。

【町民課健康づくり係 電話0136-62-2513】

「専門医」とは？-日本の専門医制度が変わりました-



所長 今江 章宏

最近、テレビや雑誌などで「〇〇の専門医に聞く・・・」といった番組や特集をよく目にしますが、「専門医」と聞いてどのようなイメージを持つでしょうか。

これまで日本では100種類以上の専門医が存在していましたが、各分野の医師団体(学会)独自の認定基準によって乱立し、医師の質が一定ではありませんでした。そこで、昨年度から新たな専門医制度により、専門医の質を高め良質な医療を提供することを目的に、専門医の認定基準が統一されましたのでご紹介します。

●これからの日本の専門医制度

一般社団法人日本専門医機構が認定する新たな専門医制度が右記のとおりとなりました。基本となる専門医が19種類に絞られたほか、「総合診療科」が専門医として正式に位置付けられました。

- ・内科
- ・皮膚科
- ・外科
- ・産婦人科
- ・耳鼻咽喉科
- ・脳神経外科
- ・麻酔科
- ・小児科
- ・精神科
- ・整形外科
- ・眼科
- ・泌尿器科
- ・放射線科
- ・救急科
- ・リハビリテーション科
- ・形成外科
- ・病理
- ・臨床検査
- ・総合診療科

●寿都診療所の家庭医は「総合診療科」の専門医

「総合診療科(家庭医療科)」は子どもからお年寄りまで、何でも相談できる身近な「かかりつけ医」であることを専門に、地域で求められる医療に幅広く対応するための訓練を受けています。これまでと同様に、皆さまに寄り添い信頼していただける医療を提供していけるよう、今後も努力してまいります。

●家庭医(総合診療科の専門医)は、ほかの専門家や病院と連携し最善の医療を提供します

患者の症状を踏まえ、診るべき範囲を見極め、さまざまな専門医との橋渡しを適切に行うことも私たちの重要な役割です。適切な医療機関を提案し、紹介状を書くことによってスムーズに受診できるようサポートします。また、紹介先での治療が落ち着いたら、診療所で定期検査や薬の処方を引き継ぐこともできます。

身体に異変を感じた際、まずは診療所の家庭医へ、ぜひお気軽にご相談ください。



●就任挨拶●



医師 鈴木 哲

札幌市出身、札幌医科大学卒業後、北海道家庭医療学センター医師として昨年まで帯広協会病院で勤務しておりました。

海の町に住むことは初めてなので、食べ物や景色、海沿いのランニングなど、たくさん楽しみたいと思っています。

1年間という短い期間ですが、地域の皆さまに少しでも貢献できるように努力していきたいです。よろしくお願ひいたします。

診療体制の変更のお知らせ 《精神科》

隔週の木曜日、午後に診療を行っていた倶知安厚生病院の嶋岡修平医師が3月14日を最後に異動となり、4月11日(木)から倶知安厚生病院の永田雅子医師が診療を行います。

小西議長、沢村議員、木村議員が全国町村議会議長会自治功労賞を受賞

2月6日に東京都で開催された全国町村議会議長会定期総会において、小西正尚議長が町村議会議長在職7年以上、沢村國昭議員、木村親志議員が町村議会議員在職15年以上の方に贈られる自治功労賞を受賞されました。

小西議長は、昭和62年10月に寿都町議会議員に初当選以来、平成23年10月からは議会議長として、また、沢村議員、木村議員は平成15年10月に寿都町議会議員に初当選して以来、地域の振興発展と住民福祉の向上に寄与し、献身的に活動された功績が認められ、今回の受賞となりました。

3月5日に行われた第1回定例会の冒頭に、小西議長へは石澤洋二副議長から、沢村議員、木村議員へは小西議長から表彰状が伝達されました。



小西正尚議長



沢村國昭議員



木村親志議員

やったね! むし歯ゼロ!

3月12日に行った3歳児健診の歯科指導で、むし歯がなかったお子さんをご紹介します。

これからも、大切な歯を守っていただけるよう、親子で虫歯予防に取り組んでください。



歯磨き
頑張りまわー!

しょうま
三浦 奨真くん (新栄町)



寿都高校卒業式(3/1)

卒業・卒園



寿都中学校卒業式(3/15)



潮路小学校卒業式(3/19)



寿都小学校卒業式(3/20)



寿都保育園卒園式(3/22)

とれたて「風太くん」ニュース ～Vo.13～

平成31年度も風太くんニュースをよろしくお願ひいたします。
今月のニュースは「道の駅みなとま～れ寿都」「ベーカリー寿」からお届けします。

みなとま～れニュース イースターフェスタ&雪見BBQ開催!

3月は、暖かい日差しで例年以上に早く雪解けが進み、4月に入って春の陽気が一段と増したように感じられますね。また、寿都湾では、サクラマスの水揚げが増え、「寿都の食」が美味しい季節がやってきました。

道の駅みなとま～れ寿都では、3月2日に、「イースターフェスタ」と「雪見BBQ」を開催しました。

今年で3回目の開催となるイースターフェスタでは、「ものづくり」をテーマに「天然石入りレジストラップ作り」や、「うさぎのポンポンクラフト」など数種類の体験コーナーを設けて実施しました。また、昨年に引き続き「エッグペイント」や、みなとま～れの中に隠されたたまごを探すゲーム「エッグハント」なども行い、小さなお子さんだけでなく大人の皆さまにも楽しんでいただけました。

夜には、気温マイナス2度の中で「雪見BBQ」を開催し、約30名の方に参加していただきました。あいにく雪が融けていて「雪見」ではありませんでしたが、参加者全員で七輪を囲みながら、冷えた飲み物と焼肉を堪能しました。

今年度も皆さんに楽しんでいただけるイベントを実施していきますので、今後もみなとま～れ寿都をよろしくお願ひします。



イースターフェスタの様子



雪見BBQの様子

～みなとま～れ寿都の営業時間・休館日変更のお知らせ～

4月から道の駅みなとま～れ寿都の営業時間と休館日が右記のとおり変更となっております。多くの皆さまのお越しをお待ちしております。

【営業時間】 9:00～18:00
【休館日】 無休

寿都町観光交流センター「みなとま～れ寿都」(一般社団法人寿都観光物産協会)

- 住 所：寿都町字大磯町29-1 ●開館時間：【4月～9月】9:00～18:00 【10月～3月】9:00～17:00 ●E-Mail：eki@suttufan.com
- 電 話：0136-62-2550 ●休 館 日：【4月～9月】無休 【10月～3月】毎月第1・3月曜日 ●H P：http://suttufan.com/

ベーカリー寿ニュース 新メニュー販売中です!

ベーカリー寿は、昨年11月のオープンから、もうすぐ半年を迎えようとしており、この間、多くの皆さまにご愛顧いただきました。ありがとうございます。これからも皆さまに喜んでいただけるよう商品をご用意していきますので、多くの皆さまのご来店をスタッフ一同お待ちしております。

3月からうずまきいちごクリームパン(170円)と、もちりチーズパン(140円)が新しく登場しました。淡いピンク色に彩られたいちごのクリームパンと、チーズたっぷり濃厚なもちりパンは、販売開始から人気を呼んでいます。

焼き立てをご用意しておりますのでぜひご堪能ください。



うずまきいちごクリームパン



もちりチーズパン

ベーカリー寿～Kotobuki～

- 住 所：寿都町字新栄町104番地 寿都町地域コミュニティ施設「みなくる104」1階
- 電 話：0136-75-7040 ●Facebook：https://www.facebook.com/Kotobuki.Bakery/
- 営業時間：10:00～16:00 ●定休日：日曜日

すくすく1歳です

4月生まれ

こはる
竹鼻 心春ちゃん
(24日生まれ)

(渡島町)直斗さん
恵さんの子



あつという間の1年！これからもたくさん遊んで楽しく過ごそうね。すくすく、のびのびと大きくなってね。

戸籍の窓口

人口 2,978人 (-8) 世帯数 1,692世帯 (-7)
男 1,455人 (-4) 女 1,523人 (-4)
(平成31年2月末現在住民基本台帳)

～いつまでも おしあわせに～

矢追町 { 金盛 純さん
木村 郁美さん

～ごめいふくを お祈りします～

湯別町下湯別 佐藤 幸二さん (3/14) 89歳
歌棄町歌棄 松田 和夫さん (3/15) 91歳

ご寄附ありがとうございました

株式会社吉本組 (岩内町)
代表取締役社長 吉本 貴昭 様
水産振興寄附金として 1,000,000円

藤野 洋子 様 (札幌市)
寿都町備品として 絵画(油絵) 1枚

寿都生コン株式会社 (矢追町)
代表取締役社長 井町 孝彦 様
代表取締役副社長 小野寺 均 様
ふるさと振興寄附金として 300,000円

高齢者肺炎球菌ワクチン接種の実施について

■対象者

- ・65歳以上の方(接種日において)で、今までに一度も接種したことのない方
- ・平成25年までに1回目の接種をした方

■接種期間

平成31年4月1日～2020年3月31日

■接種医療機関

祁答院医院 電話 0136-62-2232
寿都診療所 電話 0136-62-2411

■接種料金(自己負担)

1回目 3,500円
2回目 課税世帯 ⇒ 4,000円
生活保護及び非課税世帯 ⇒ 2,000円
(※通常接種料金 7,000円)

■申込先

町民課健康づくり係 電話 0136-62-2513
※期間中は随時受け付けしております。
※申込受付後、予診票を送付します。

短歌

一時もじつと出来ない吾が孫よ

四月入園ただ祈るのみ

石橋

典子

汐さいと小川せせらぐ古里に

行者にんにく早緑を摘む

中村

昭風

落雷に電話通じず四ヶ月

直り早速友にフックス

志田

妙子

残雪の狭間に緑ちらほらと

時折のぞく日差し集めて

亀谷

セツ

(老人クラブ短歌)

独りってあこがれた頃の自分居て

今の私は不安と二人

松沢

スミ

俳句

水温む朝一番の厨事

春一番沖に船影なかりけり

石橋

典子

球根の早や芽の二枚友を呼ぶ

鯨群来漁夫の心いきり立ち

中村

昭風

沖からの春をつげたる鴨かな

(老人クラブ俳句)

志田

妙子

草も木も芽吹き真赤なランドセル

遠藤

セツ

松沢

スミ

ふるさと文芸の短歌・俳句を募集します

町では、ふるさと文芸へ掲載する短歌・俳句を募集します。掲載をご希望の方は、左記へお問い合わせください。

【企画課地域調整係 電話0136-62-2608】

ふる里文芸